



新しいお友だち3名を迎え14名の元気なうさぎ組がスタートしました。早いもので1ヶ月が過ぎ新しい環境・生活リズムにも慣れ、給食の準備や着替えもスムーズに出来るようになってきました。この1年たくさんのことを経験し楽しい思い出を作りたいと思います。1年間よろしくお祈りします。



新しいお部屋にもすっかり慣れ、かばんやスモックをロッカーにかけたり、コップや水筒を出したり朝の用意も進んでやろうと頑張っています。自分のロッカーの場所やマークも覚え、ロッカーの前に座って話を聞いたり、絵本を見たり出来るようになりました。給食が終わるとロッカーからカゴを出してパジャマに着替えるのもスムーズになってきました。なんでも自分で!!の時期真っ最中の子どもたちで、手伝おうとすると「イヤ!!」「自分で!!」と怒ってしまうことも…パジャマのボタンも時間がかかりながらも一生懸命やろうとする姿に成長を感じます。「手伝ってあげようか?」とひと声かけ納得いくまで見守っていると「やって」とスムーズに着替え等できることも多いです。自分でやりたい気持ちを大切にしながら関わっていきたいと思っています。

とにかく戸外あそびが大好きで、寒くても、風が強くても、雨が降ってなかったら「雨降ってないな〜」「お外、遊べるな」と、広い園庭内で追いかけて遊んだり、ロッククライミングに挑戦したり、ジャングルジムに登ったり、砂場ではおままごとをしたり…いつも元気一杯遊んでいます。最近では虫に興味を持つお友だちが増えてきてアリやだんご虫見つけを楽しんでいます。



絵本が好きで、特に好きな絵本が“おばけなんてないさ”“やまのおんがくか”“おにのパンツ”です。「おばけ見る」「おにのパンツ見たい」と朝夕、毎日と言っていいほど見ている。歌になっており口ずさんだり、楽器の真似をしたり喜んで見えています。

○エピソード記録○

園庭で遊んでいるときりん組が筍ご飯のクッキングをしていました。手洗い場で筍を洗っている様子を手洗い場の穴から覗いて興味深々で見っていました。

Aちゃん「何しとん?」

きりん組 Aちゃん「筍洗っとんやで」

Aちゃん「筍食べたいな」

Bちゃん「給食に入っとるかな」

きりん組 Bくん「皮も剥いたで」

そんなやりとりをしているとバケツに入った筍の皮を見つけたCちゃん

Cちゃん「これなに?」

保育士「筍の皮だよ」

Cちゃん「匂いする、筍?」

と言いながら匂いを嗅いでみたり、じっくり見たあと筍の皮を頭に寄せ

Cちゃん「鬼やで」

と見せてくれました。

皮の形を見て、鬼の角に似ていると思い、それを見立て表現することが出来ています。

その日の給食のメニューは若竹汁でした。お汁の中に筍が入っていることに

気がついた Aちゃん

Aちゃん「筍あったー」

Bちゃん「きりんさんの筍やなー」

するとみんなでスプーンで筍をすくって見せながら

「筍あったー」「○○ちゃんもあるー」

とみんな大喜びで食べ、おかわりをたくさんしました。

お兄ちゃんお姉ちゃんのクッキングをきっかけにして食材に興味を持つことが出来ました。

数日後、給食に筍が入っていると

Aちゃん「きりん組さんが洗とっちゃったやつやな」

と名前は出てきませんでしたがよく覚えていたことに驚かされました。



衣服やハンカチ等の持ち物に名前がないものがあります。お友だちと同じものもあり、紛れてしまうことがあります。確認していただき名前の記入をお願いします。